

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	高齢者の暮らしを支えるまちづくり					
(2)	総合計画の体系	第	03	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	02	節	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
		第	00	細節			
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		427	10,722	13,958	
		従事職員数		0.15 人	1.00 人	1.90 人	
		所要人件費(B)		1,269	8,340	15,774	
		総事業費(A+B)		1,696	19,062	29,732	
		財源内訳	収入	国庫支出金	693	9,228	11,595
				府支出金	347	4,614	5,799
				その他	572	606	6,539
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	83	4,614	5,799
一般財源	1			0	0		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	在宅医療介護連携推進事業で取組む8事業のうち、実施できた事業数	目標値 (単位:事業)	2.00	2.00	1.00
		実績値 (単位:事業)	1.00	6.00	/
		達成度(%)	50.0	300.0	
目標値の積算方法	実施事業数				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

介護保険法が改正され、包括的支援事業に新たに位置付けされた事業です。平成27年度に、各事業において協議会の準備会を立ち上げ、在宅医療介護連携における課題の抽出と対応策や、地域における高齢者支援の現状と課題について検討しました。平成28年度は、協議会を立ち上げ、具体的な取組を進めてきました。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	在宅医療・介護連携推進事業	高齢福祉室	01431	なし	大	20	20	16	18	16	90	拡充
2	生活支援体制整備事業	高齢福祉室	01432	なし	大	16	18	18	18	18	88	継続
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		地域包括ケアシステムの構築においては、2事業ともに重要であります。市町村が初めて医療分野の施策化に取り組む在宅医療・介護連携推進事業を上位に位置付けました。										